

# 治療中もその人らしい時間を 過ごしていただけるよう 多面的にサポート



兵庫医科大学病院の緩和ケアセンターは、がんおよび末期心不全の患者さんを中心に、痛みや苦しさをはじめ、不安や気分の落ち込み、人間関係や経済的な不安など、さまざまな面でケアを行っています。また、ご家族の相談にのることもあります。

緩和ケアは、終末期の患者さんだけを対象にするものではありません。病気の進行度に関係なく、肉体的・精神的な苦痛を取り除くことで患者さんとご家族が治療に前向きに取り組めるよう、多職種のスタッフが協力してサポートします。

## 緩和ケアのニーズは年々高まっています

緩和ケアのニーズが高まる中、緩和ケアチームが担当する患者さんの数も年々増加しています。がんなどと診断されてすぐの早い段階から、治療と並行して行なうことが多くなっています。

緩和ケアチーム介入件数



現在、8職種21名が所属。緊密に連携して、入院中や外来の患者さんのケアにあたっています。

### 緩和ケアセンターに所属しているメンバーの職種

- 医師 ● 看護師 ● 薬剤師
- 理学療法士 ● 作業療法士
- 臨床心理士
- 医療ソーシャルワーカー
- 歯科衛生士 ● 管理栄養士



緩和ケアチームが直接足を運び、各診療科の医師や病棟・外来の看護師と連携しながら、患者さんに寄り添います。



対象となる患者さんには質問票を配布し、思っていることやご希望を書いていただけるようにしています。

**つらさを緩和するために…**

あなたの人生において、あなたが望む最善の医療やケアについて話し合うプロセス(アドバンスケアプランニング;ACP)を大切にしていきましょう。

**あなたの力を信じ、力を高めましょう**

あなたの人生は、あなたのものです。  
今を大切に、  
あなたらしく生きていくことを  
ご家族や私たち医療者と  
一緒に考えませんか。

緩和ケアについてきちんとご理解いただけるよう努める  
とともに、患者さんやご家族のお考えやご希望をしっか  
りとお聞きして、一緒に考えていきます。

## 専門分野の異なる専門・認定看護師の連携が強みです

兵庫医科大学病院の緩和ケアセンターには、緩和ケア認定看護師のほか、がん性疼痛看護認定看護師、がん看護専門看護師、慢性疾患看護専門看護師など、専門分野が異なる専門・認定看護師が所属しています。それぞれの専門分野を生かしながら、強固に連携して一つのことに対処できるのが強みといえます。

### 迅速な症状緩和で 患者さんを少しでも楽に

患者さんの状態・状況は日々変わるので、痛みなどの症状緩和には迅速で細かい調整が必要です。患者さんの時間を無駄にしないために、できるだけ多くの情報を集め、いろいろな職種のスタッフで協力して進めます。患者さんの思いを感じられたり、少し楽になったよという一言を聞けたりすると、自分自身の支えになります。

緩和ケア認定看護師  
乾 貴絵

### その方らしい時間を 過ごしていただくために

私たちは、患者さんやご家族が病院にいる短い時間しか関わることができません。痛みや不安を取り除くことはもちろんですが、その方の価値観や人生観を大事にしながら、その人らしい時間を過ごしていただくことが大切だと考えています。患者さんやご家族の納得を得られ、笑顔を見られたときは本当にうれしいですね。

ゼネラルマネージャー  
がん看護専門看護師  
がん化学療法看護認定看護師  
西村 裕美子

### 遠慮せずに思っている ことを伝えてほしい

我慢することがその人らしさであるのなら、我慢していいと私は思っています。でも、もし遠慮やあきらめがあるのなら、あるいは我慢ができなくなったときには、医師や病棟の看護師に思っていることを伝えてほしいです。痛みや気持ちを少しでも楽にするにはどうしたらいいか、私たちと一緒に考えましょう。

がん性疼痛看護認定看護師  
土井 陽子

